

■ ビジュアルをカッコよく作る事だけが、グラフィックデザイナーの仕事ではないのです ■

今年度より、中部デザイン協会の理事を務めさせていただいています『梶原 大輔』と申します。

皆様、よろしくしくお願い致します。中部デザイン協会に入会して3年が経ちますが、私の事を知らないという方もお見えになると思いますので、今回は自己紹介をかねて進めさせていただきます。

私の職業はグラフィックデザイナーです。主に広告の『企画・デザイン制作』に関わる仕事をしております。私はこの仕事が大好きですが、過去に1度だけデザイナーの仕事辞めたくて、別の職種に転職しました。

入社して間もなく、こんな出来事がありました。会社のイベントチラシを作らなければならないが、スタッフ全員忙しくて誰もチラシ制作に取り掛かれないという事で、新人の私のところにチラシ制作の仕事がまわってきました。イベントの担当者と打ち合わせをすると「カッコよくてインパクトのあるチラシ」の一言でした。「それだけではチラシを作る事は出来ません」と伝えると「君、デザイナーだったんでしょ？」という言葉が返ってきました。

私は、ひとりでそのイベント趣旨をしっかりと理解してターゲットを絞って、お客さんが参加したくなる様なデザインを考え表現しました。そして蓋を開けるとイベントは、連日大勢のお客様が足を運んでくださって大成功を収めました。

この結果を受け会社の社長が、**ビジネスにおけるデザインの重要性**を認識された様で、私は『社長賞』を受賞しました。デザインが持つ力は人々が行動する上で、意思決定の心理に大きく影響します。しっかりとしたコンセプトを考えて相手に正しく伝える事が出来れば、必ず結果は付いて来きます。

前置きが長くなりましたが本題に入ります。デザインの語源は『dessin(デッサン)』計画を記号に表すという意味のラテン語『designare(デジナーレ)』だと言われています。すなわち、**デザインをするという事は、ある問題を解決するための計画を考えてそれを形で表現する事です。**

デザインはカッコよくする事と思われる方もいると思いますが、デザインはアートではないのでカッコよくする事が目的ではない事が分かります。

デザイナーがデザインを考える前に、依頼内容をもとにデザインコンセプトを作ります。クライアントと目指すデザインの基本的な考え方の方向性になりますので、このコンセプトが必要になってきます。その為にも**クライアントとの打ち合わせは、とても重要なカギ**となるのです。

デザイナーは、カッコいいビジュアルを作る事だけが仕事と思われがちですが“ビジュアル”を作るに至るまでの、全てのコミュニケーションをする事が仕事になります。

皆様もデザインを発注される時は、この様な事を頭の片隅にいれてもらえるとうれしく思います。

